

7/29 金 12

## “他党否定の危うい信念”

### 信濃毎日社説が馬場氏批判

信濃毎日新聞は「維新代表の発言、他党否定の危うい信念」と題する28日付社説で、日本維新の会の馬場伸幸代表の「日本共産党は日本からなくなつたらいい政策」(23日のネット番組)との異言について、厳しく批判しています。

公党の存在そのものを否定する民主主義とは相いれない馬場氏の異言に、社説は「他

党的理念や政策を批判するの

対し、譲讓、平和外交、福祉

とは次元が異なる」と指摘。

日本共産党的本来の「世界」を明らかにしつつ、「國政選舉では党員票をはるかに上回る支持を集めている」とも強調しています。

さらに、馬場氏の異言は「現

政権の政治を良しとせず、(日本共産党)票を託した有権者をもねどしめてくる」と罵倒して、「立場の異なる意見をくむ党的意義を否定した

のでは、民主主義を踏みにじるに等しい」と断じています。

馬場氏が日本共産党は「世の中があつ得ない空想の世界をつくりてげる」と「存在否定の理由らしきもの口とした」とことに言及した上で、大軍拡と軍事費増に反のなら、信頼して政治を任せられる政党たり得ない」と厳しく批判しています。

・医療・教育の重視を主張す